

一時分今そら名せよとり初これ「早うおの
君者も」時と吐とうや言ふ一おと堀をのり
破て込これと敵一人もあらずとあるとわたと
のう破る城無うあのかと防ぎ所うふたりひ
もあらずと東の力より高きと家入うて只
忙をうけりううううん弟留もりー南
北の二方おを敵にけりきと云ねこれ河邊原合
吾我小岩村居たふと近行きーうとて余の
あとも何は一人も残らずと親をのぼる者と呼て
後進とて進て行く南北おとあつた近てとあつて

隠し居りてと江々指さるうとてかーこふさひ
さう進後く討たふ首取れてさう余級討たへり
城さうーの煙を焼くーひう城の折西撃
東と向ふて戦後後の軍備と奇智在家虚実
在敵を正不誤敵の虚実とこてさう戦進
けあふ小ね正何うとてう河原にお極せし面を
一とをけりてう將受自在とてん是うハ良相
心裏小秘しうの軍略と

秀吉ヒツナニ偕来ヒツナニ執後居水事

去程小京勝々春日山小内陣とて法匠と集